

供給樹種の概要

(令和7年度春の通常供給)

○は根巻き等の状況です。

< 常緑低木 >

サツキ

赤花の‘大盃’を供給。
日当たり良い所を好む。移植が容易で通常寄植えて刈込む。放任すると150～200cm位になる。庭園、公園、街路樹用。
○根巻きなし



セイヨウシャクナゲ

品種が多く、花色はさまざま。移植は容易。通常1本植えて刈込みはしない。
(色の指定はできません)
○根巻きあり
○ポリポット



オオムラサキツツジ

花色は紅紫。日当たりの良い所を好む。移植が容易で通常寄植えて刈込む。放任すると150～200cm位になる。庭園、公園、街路樹用。
○根巻きなし



アベリア ‘エドワードゴーチャー’

アベリアより小ぶりで、花色はピンク。枝の伸びはアベリアよりおとなしい。屋上緑化やグラウンドカバー的使用に向く。
○ポリポット



ヒラドツツジ

本事業では白色の品種を供給。日当たりの良い所を好む。移植が容易で通常寄植えて刈込む。庭園、公園、街路樹用。
○根巻きなし



クルマメツツジ

本事業では赤花の品種を供給。移植容易。大気汚染にはやや弱い。通常寄植えて刈込む。放任すると150cm位になる。
○根巻きなし



＜ 落 葉 低 木 ＞

ドウダンツツジ

生垣や寄植えとして使用するように仕立ててある。移植は容易。年1～2回の刈込みが必要。

○根巻きあり



ユキヤナギ

3～4月に白く小さい花が枝いっぱいに房状に咲く。樹姿は株立状。半日陰でも生育するが、日当たりの良いところに植えた方が花つきが良い。

萌芽力があり、刈り込みに耐える。移植は容易

○不織布ポット



コデマリ

4～5月に白く小さく手鞠のような形の花が咲く。株立状。日当たりが良く水はけの良いところを好む。

成長が早く、萌芽力が旺盛で、強い刈り込みにも耐える。ユキヤナギと類似。

○不織布ポット



レンギョウ

3～4月に黄色い花が咲く。株立状で弓状に曲がる。日当たりが良く水はけの良いところを好む。成長が早く、萌芽が旺盛、刈り込みに耐える。

○不織布ポット



ヤマブキ

4～5月に鮮やかな黄色（山吹色）の花が咲く。株立状。腐食質を多く含み、湿気のある半日陰を好む。成長が早く、萌芽力旺盛。一般の植栽の他、水辺や湿地にも向く。

○不織布ポット



タイリンキンシバイ

（ヒペリカム ‘ヒドコート’）

半落葉または常緑。6～8月に黄色い花が咲く。株立状で、枝が這うように伸びる。成長が早く、萌芽が旺盛、刈り込みに耐える。半日陰でも生育。グランドカバーとしても使える。

○不織布ポット



シモツケ

本事業では紅色の品種を供給。6～9月まで、枝先に花が付く。日当たりを好むが半日陰でも生育する。土質は選ばず、ほとんど手もかからない。

○不織布ポット



ガクアジサイ

花色は青、赤白などで、土壌 pH により変化する。6～7月にかけて開花。生育は旺盛、潮風に強く、日陰でも生育する。

（色の指定はできません）

○根巻きあり



ブルーベリー （ラビットアイ系）

4～5月に白色の花をつける。果実は7～8月に藍黒色に熟す。実と紅葉が楽しめる。ツツジ科のため酸性土壌を好む。

（品種の指定はできません）

○ポリポット



＜ 常 緑 中 木 ＞

セイヨウカナメモチ

赤色の新芽が特徴的である。日本の「べにかなめもち」より葉が大きく、病気に強く、成長が早い。移植はやや難。1本植え又は生垣や列植して使用する。放任すると3～4mになる。

○不織布ポット



キンモクセイ

高さ4～10m程になる。

10月に橙黄色の小さな花が集まって開花し、強い芳香がする。肥沃で日当たりの良いところを好む。通常1本植え又は生垣として使用する。刈込みに強い。

○根巻きあり



オリーブ ‘チブレッシーノ’

常緑の高木。小型で細い葉を小枝に付ける。葉の表面は緑色だが、裏が銀青色を帯びる。この品種は、樹形がまとまりやすく他の品種に比べて立性で管理しやすい特徴がある。

○ポリポット

